

商工会地域の景況感は小売業が改善。建設業は横ばい、製造業とサービス業は小幅ながら悪化！
来期、サービス業は大幅回復、他の業種も揃って改善を見込んでいる！

—2024年1月～3月期 中小企業景況調査報告書概要—

日銀が2024年4月1日に発表した3月の企業短期経済観測調査（短観）によると、企業の景況感を示す業況判断指数（D・I）は、大企業・製造業が昨年12月の調査から2ポイント悪化してプラス11となった。悪化は4四半期ぶり、景況感の改善は足踏み状態となっている。一方、大企業・非製造業は、昨年12月の調査から2ポイント改善しプラス34となった。景況感の改善は8四半期連続で、今までにない高い水準となっている。中小企業の業況判断指数は、製造業では前回調査から3ポイント悪化しマイナス1、非製造業も1ポイント悪化してプラス13となった。製造業、非製造業ともに大企業と比べると、景況感は総じて弱い動きとなっている。コストの増加や人手不足の深刻化が、収益基盤の弱い中小企業ほど悪影響となっているとみられるほか、製造業では自動車の生産停止によるダメージも大きかったと考えられる

3か月後の先行きの見通し（2024年6月予測）は、大企業・製造業は今期より1ポイント悪化しプラス10が見込まれている。非製造業では、7ポイント悪化のプラス27が見込まれる。製造業、非製造業ともに物価上昇による需要の減少、コストの増加、人手不足の深刻化等の懸念が、企業マインドの重荷になっているとみられる。中小企業では、製造業が今期より1ポイント改善し±0、非製造業では5ポイント悪化のプラス8が見込まれている。製造業では、自動車の生産停止によるダメージが解消し、景況感が改善するとの見通しとなっている。一方、非製造業では、引き続き、物価上昇、人件費高騰、コスト増加、人手不足の深刻化等による悪影響が懸念さ

れ、慎重な見通しとなっている。

内閣府が2024年4月23日に発表した4月の月例経済報告において、景気全体の基調判断は2月に「このところ一部に足踏みも見られるが、緩やかに回復している」から「このところ足踏みも見られるが、緩やかに回復している」に引き下げられたものを維持した。個別項目の「業況判断」は、「改善している。」という見方を維持したものの、「製造業の一部では、一部自動車メーカーの生産・出荷停止による影響がみられる。」という表現を加えている。そして、先行きは中国経済の先行き懸念、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、令和6年能登半島地震の経済に与える影響に留意する必要があるとしている。

商工会地域の景況調査においては、今期（2024年1月～3月）の業況に関するD・I値は、製造業が前期より3.3ポイント悪化しマイナス30.0、建設業は横ばいでマイナス21.7、小売業が4.8ポイント改善しマイナス50.0、サービス業が2.5ポイント悪化しマイナス27.0となっている。今期は、小売業のみが改善し、建設業が横ばい、製造業とサービス業は悪化している。来期（2024年4月～6月期）の業況予測は、製造業が今期実績より10.0ポイント改善しマイナス20.0、建設業が8.6ポイント改善しマイナス13.1、小売業は4.8ポイント改善しマイナス45.2、サービス業は17.4ポイント改善しマイナス9.6を予測している。来期についてはD・I値に多少の開きはあるものの全業種が改善することを見込んでいる。

業界天気動向図

項目	売上				採算（経常利益）				資金繰り			
	2023	2024			2023	2024			2023	2024		
業種	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1
	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
製造業												
建設業												
小売業												
サービス業												

各項目については次により表示した。

区分	増加	やや増加	横ばい	やや減少	減少	大幅に減少
	好転	やや好転		やや悪化	悪化	非常に悪化
D・I値（前年同期比）	20.1～		5.1～20.0	5.0～△5.0		△5.1～△30.0
表示	快晴	晴れ	曇り	小雨	雨	豪雨

今期直面している経営上の問題点

（数値の左は前期構成比、右は当期構成比を記す）

業種	1位		3位		5位	
製造業	1位にあげる問題点		3位		5位	
	原材料価格の上昇、需要の停滞		生産設備の不足・老朽化、人件費の増加		原材料の不足、材料費・人件費以外の経費の増加等	
前期	19.4	19.4	--	12.9	--	9.7
今期	19.4	19.4	--	12.9	--	9.7
建設業	1位		3位		4位	
	1位にあげる問題点		3位		4位	
	材料価格の上昇		下請単価の上昇		材料不足、材料費・人件費以外の経費の増加、熟練技術者の確保難、官公需要の停滞等	
前期	40.9	45.8	13.6	12.5	0.0	8.3
今期	40.9	45.8	13.6	12.5	0.0	8.3
小売業	1位		3位		4位	
	1位にあげる問題点		3位		4位	
	仕入単価の上昇、大型店・中型店の進出による競争の激化		購買力の他地域への流出		同業者の進出、消費者ニーズの変化、販売単価の低下、上昇難、需要の停滞	
前期	--	15.4	12.2	12.8	--	10.3
今期	--	15.4	12.2	12.8	--	10.3
サービス業	1位		3位		5位	
	1位にあげる問題点		3位		5位	
	材料等仕入単価の上昇		利用者ニーズの変化、店舗施設の狭隘・老朽化		新規参入業者の増加、従業員の確保難、需要の停滞	
前期	53.8	39.2	7.7	15.7	--	7.8
今期	53.8	39.2	7.7	15.7	--	7.8